

女性研究者研究活動支援事業（拠点型）

(実施期間：平成 25～27 年度)

実施機関：熊本大学（総括責任者：原田 信志）

プロジェクトの概要

(1) 大学コンソーシアム熊本(コンソ)を基盤とする女性研究者支援ネットワーク構築のため、本学男女共同参画推進室に特定事業教員を雇用し、コンソ内に加盟大学の代表者からなる部会横断的なワーキンググループを作り、県内の大学における

- 1) 男女共同参画意識の向上
- 2) 保育・介護に関する福祉分野支援コーディネート機能の整備・拡充
- 3) 女子大学生のキャリア意識の形成
- 4) 女性研究者研究活動支援の推進に関する、具体的な内容の検討と事業化の取組

以上について、県内の公立・民間研究機関へ拡大し、ライフイベントを乗り越える支援の普及と充実を図る。

(2) コンソ加盟の 14 高等教育機関と 2 自治体の研究機関、並びに、賛助・協賛会員傘下の研究所

(1) 評価結果

| 総合評価 | 目標達成度 | 取組 | 取組の成果 | 実施体制 | 実施期間終了後の取組の継続性・発展性 |
|------|-------|----|-------|------|--------------------|
| A | a | a | a | a | b |

総合評価：A（所期の計画と同等の取組が行われている）

(2) 評価コメント

実施機関と「大学コンソーシアム熊本」に加盟する熊本県内の高等教育機関や自治体等が、強い連携体制を構築することにより、実施機関における取組の好事例を連携機関へ効率的に普及させたことは、評価できる。また、各連携機関において女性研究者支援体制が整備されるとともに、実施機関における研究環境整備や両立支援、意識改革、女性限定公募の実施等による積極的な女性研究者の採用に係る取組が連携機関へ普及し、高い波及効果を及ぼした。さらに、実施機関及び連携機関においては、女性教員数の増加、共同研究を介した研究業績の向上等の成果が上がっており、評価できる。

- ・ **目標達成度**：連携機関が自立して女性研究者の活躍促進に取り組む体制を構築し、また、実施機関において、女性教員の採用者数、在籍比率、上位職への昇進者数、研究業績の向上等に係る目標を概ね達成したことは評価できる。
- ・ **取組**：熊本県内の高等教育機関や自治体、研究機関、企業等との強固な連携体制を構築し、各機関において女性研究者支援体制を整備したことは、評価できる。また、意識啓発のためのシンポジウムや女性研究者交流会の共催、病児・病後児保育支援事業や NPO と連携した介護コー

ディネートサービスの共用等が効率的に実施されたことも評価できる。

- **取組の成果**：実施機関において、これまで実施されてきた教員の女性限定公募が連携機関へ普及し、女性教員の採用が促進され、連携機関全体の女性教員比率が上昇したことは評価できる。さらに、連携する大学において、県内初の女性学長が誕生する成果も上がっており、実施機関においては、女性教員の在籍比率及び採用比率の増加、教授職への昇任者数の増、執行部への登用促進が進んでおり、評価できる。
- **実施体制**：実施機関の男女共同参画推進室に設置した「女性研究者研究活動支援事業（拠点型）事務室」と、「大学コンソーシアム熊本」の地域創造部会の下に設置した「女性研究者支援ワーキンググループ」が中心となり、実施機関と連携機関との間を繋ぎ、取組の好事例の普及を行う連携体制を構築したことは、評価できる。
- **実施期間終了後の取組の継続性・発展性**：「大学コンソーシアム熊本」内に「男女共同参画推進連携委員会」を新たに設置し、これまでの連携・普及に係る取組を継続して実施する体制を構築したことは、評価できる。しかしながら、実施機関においては、今後の取組は部局主体で推進することとしており、取組の継続性や発展性が懸念され、今後の実施体制や自主財源等の確保における学長のコミットメントを期待する。